

県外派遣報告書

（社）栃木県バスケットボール協会 審判委員会

大会名	令和6年度全国中学校体育大会 第54回全国中学校バスケットボール大会	開催地	新潟県 長岡市
報告者名	有坂 明子	派遣期間	令和6年8月22日 ~ 8月24日
講師	伊藤睦哲 尾形美樹 市川雄介 小出聡子 古畑咲 山田依美里 山本雄大 加藤暁生		

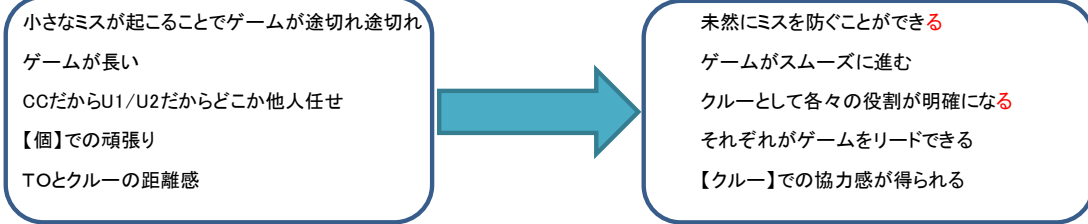
【IH/全中合同審判研修会】

7月29日(月) 19:00~21:00 全中担当

研修①	研修会テーマ	担当講師:山本氏、市川氏
<h3>処置ミスゼロにむけて～クルーでの取り組み～</h3>		
<p>1、ミスが起こる状況を知っておく これまでに経験したり、観戦したものをもとに処置が起こりそうなシチュエーション・どんな処置ミスが起こるかを皆さんと考える</p>		
<p>2、ミスを防ぐ術をクルー、個人で持つ 処置ミスを防ぐための、個人で気をつけること・クルーでの約束事を考える</p> <p>個人・ ファウルをコールした際、ファウルしたプレーヤーとファウルされたプレーヤーを確認 クルー・ EOQでスコア、ノースコアを判定するのは誰か共有 ヘルプ、セカンドオピニオンを必要に応じて使う</p>		
<p>3、トスアップ・OOB どんな約束事が必要でしょうか？</p> <p>個人・ トスアップ直後のOOBでの再開 時計、ショットクロックは何秒か確認 ポゼッションアローが決まるタイミングを確認 クルー・ ジャンプボールの際、3人はそれぞれどこを見るか</p>		
<p>4、 ルーズボール・TF どんな約束事が必要でしょうか</p> <p>個人・ ボールのコントロールが変わるタイミングを確認 TFを判定した際、ボールのステータス、再開方法を把握 クルー・ 3人で集まった時に何を確認するか</p> <p style="margin-left: 40px;"> 何を判定して、どんな情報を持っているか ボールのステータスはどうか 再開方法・役割分担はどうか </p>		
<p>5、 EOG どんな約束事が必要でしょうか？</p> <p>個人・ 2:00以下で変わるルールを確認 時計を必ず確認 クルー・ ラストショット、リバウンドまで3人がそれぞれプライマリーを強く判定 タイムアウトの数の把握</p>		
<p>6、 UF、怪我人、介助 どんな約束事が必要でしょうか？</p> <p>個人・ 何のクライテリアで判定したのかをその場で判断 ・UFをしたプレーヤーとされたプレーヤーを確認 クルー・ クライテリアを明確にコミュニケーション 怪我人、介助が発生した時にくる一で把握</p>		
<p>※ 処置ミスが起こる状況は1つではない その処置を防ぐために 正しいルールの理解 クルーの約束事が大事</p>		

1、 TOと連携をとることで ゲームの進行がスムーズよりスピーディーなゲームの提供

TOと審判はひとつのチームとして取り組むことで、より良いゲーム運営ができるようになる



2、 TOミーティングで確認すべきこと

スコアラー・ レポートであれ？がある時はその場で確認 2点3点か不明な時は取り急ぎ2点を入れその後に

Aスコアラー 時計が止まった時に審判に確認する 急なタイムアウトに備え協力しましょうタイムアウト数は加算か減算？交代やタイムアウトの請求が分かりにくい、キャンセルを伝ええないなど 正しく行われていない時は、審判に伝えてください

タイマー・ ゲームが止まっているとき審判に確認したいことがあればブザーを鳴らして呼んでください 時計を進めてしまった、時計を進められなかったときは審判に伝えましょう(審判も把握)

ショットクロック・ 8秒の成立は 表示が15秒か・16秒か事前に確認 リセットまたは継続か、一緒に確認する 慌ててリセットしないように気をつける 投入れの判断が厳しい場合は審判の合図を確認

※ 会場により機材や得点などの表示物が特殊な場合は事前に確認しましょう
タイマーやショットクロックの発光があればブザーの音とズレないかTOさんが持っている情報は惜しみなく共有してください。

3、 TOミーティングで確認すべきこと(映像) 気づき、コミュニケーションの必要性

有効なコミュニケーション わからいことがあったら聞いてではなく

～ 聞くかどうか迷ったら 聞いて～

コート上でTOクルーと取り組むこと

問題解決をするための効果的な方法 ～助言よりも日々の雑談～

シチュエーション別処置ミスゼロへの取り組み

まとめ・

ゲームの方向性をはっきり示す

一方通行ではなく、双方向を意識(エッジの回避)

起こりうる処置ミス、および対処法の共有 TOミーティングの話題も考えておく

8月22日(木)予選リーグ

審判員名	CC 有坂明子 U1 堀川和宏(福井) U2 石沢和也(新潟)
カード	女子 Nリーグ 三股(九州3) 73-79 昭和学院(関東2)
ゲームについて	<p>・PGCではガイドラインの確認とベーシックなメカニクス、ヘルプディフェンダー、プライマリの確認をしてゲームに臨んだ</p> <p>・ゲームのはいりから両チーム共にオールコートでタイトなDF、インサイド中心のOFを行う中で、トラベリング、イリーガルなコンタクト、3秒、などテンポセッティングしていくことができた。</p> <p>・予選リーグにおける得失点が試合結果に影響する中で、3ポイントというよりは、ドライブやペイントエリア内の得点が多く、センターでのポジションアジャスト、予測が必要だと感じた。その中で、ゲームの終盤までスピード感あふれるゲーム展開をクルーとして共通理解はできていたが、5ファールで退場する選手が増えてしまった。</p>

8月23日(金)決勝リーグ

審判員名	CC 石川淳也(大阪) U1 有坂明子 U2 北島和明(佐賀)
カード	決勝リーグ2回戦 本渡(九州2) 48 - 55 豊野(関東1)
ゲームについて	<p>・ゲームの入りとして方向性をはっきり示し、分かりやすくクルーとしての確かな判定を積み上げていけたのでベンチからのアピールもなくゲームがスムーズに行えた</p> <p>・試合中盤に選手からコンタクトレンズが落ちたとアピールがあり、ゲームを止めたケース。中学生ということもあり審判の許可を得てコーチもコートに入り一緒に探したが、見つけることができなかった。『探す』という行為が介助に当たるかどうかと相手チームのコーチから質問があったが、選手交代をして理解を得ることができた。もう少しスムーズに処置ができたのではないかと感じ今後のゲームの進行について課題ができた。</p> <p>・TOとの連携もスムーズに行えて、地元新潟の中学生や先生方にはとても助かりました、感謝申し上げます。</p>